

排出ガス浄化装置(DPR)点検のご説明

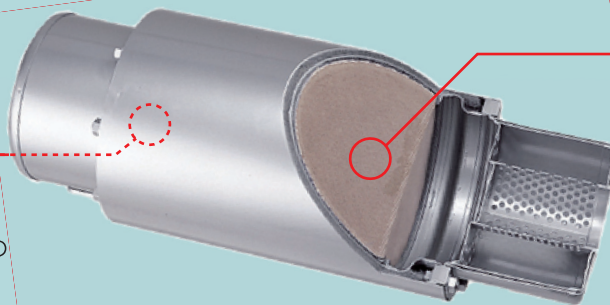
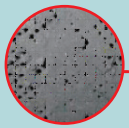
DPRは、燃料噴射・ターボ・EGR・DPRフィルターをコンピューターで総合的にコントロールしてススをフィルターで捕捉し酸化触媒の反応熱で燃焼・除去(再生)するシステムです。長年ご使用いただくと、燃料・給気系統の経年劣化からススの発生が増加、反応熱が減少してフィルターの目詰まり故障の原因となります。

DPRの点検では、専用の診断機で再生性能とインジェクターの劣化を診断します。また、燃料系・給気系の劣化を点検し、性能回復の予防整備をご案内致します。

DPRフィルターの詰まり

ススの堆積

燃料系・給気系装置の経年劣化でススの発生が徐々に増加し堆積します。



残り灰(アッシュ)の堆積

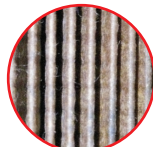
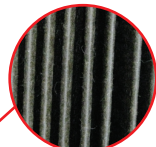
排気に含まれるオイル成分は燃焼後灰となってフィルターに残り、徐々に堆積します。

目詰まりを防ぐためDPRフィルターの定期的な洗浄をお勧めします。

燃料系の経年劣化

燃料フィルターの汚れ

燃料エレメントが詰まると燃料噴射圧力が低下しススの発生が増加します。



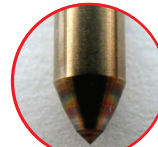
汚れ品

新品

エレメントの交換をお勧めします。

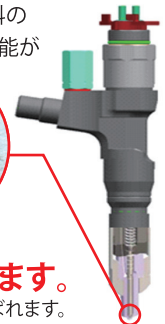
インジェクターの磨耗・キズ・付着物(※)

長年の使用で磨耗・キズや付着物(※)がつき、燃料の噴射量に変化してススの発生が増加、また再生性能が低下します。



新品

デポジット付着品



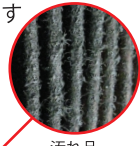
付着物はインジェクターの洗浄をお勧めします。

(※)燃料が変質したガム状の物質でデポジットと呼ばれます。

給気系の経年劣化

エアクリーナーの汚れ

エアクリーナーが詰まると吸入空気が減少しススの発生が増加します。

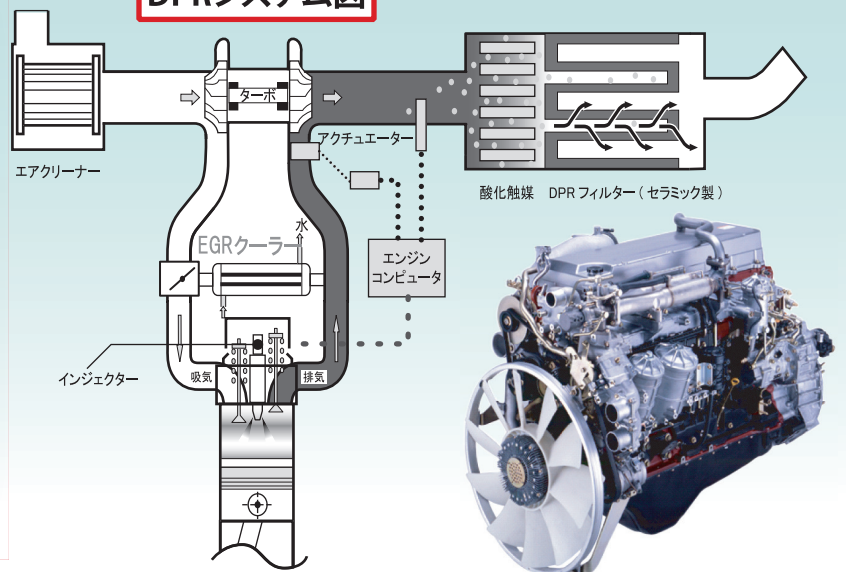


汚れ品

新品

エレメントの交換をお勧めします。

DPRシステム図



- DPRの点検は1年毎。
- DPRフィルターのスス洗浄は25万km毎。
- DPRフィルターの残り灰(アッシュ)洗浄は50~80万km毎をお勧めします。

DPRの点検に関するご用命は、日野自動車販売会社にご相談下さい。

